

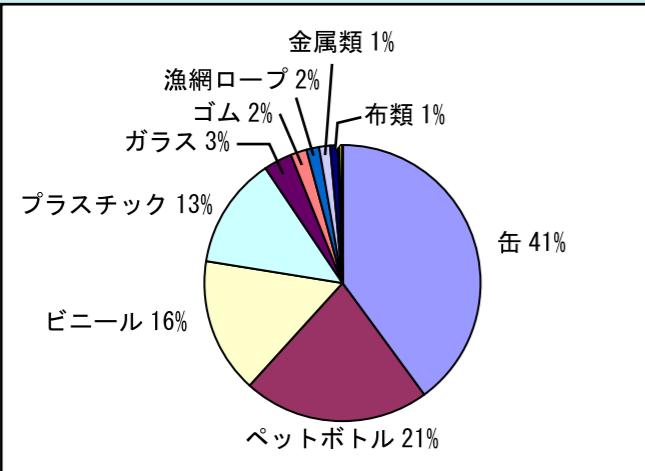
備讃瀬戸東部海域における 海ゴミの実態

平成 22 年 12 月 20 日から平成 23 年 3 月 18 日までの間に、庵治漁協の底曳網漁業で備讃瀬戸東部海域の海底ゴミを調査した結果、下記のようになりました。

備讃瀬戸東部海域では缶・ペットボトルだけで海底ゴミ全体の6割を占めています。海ゴミとなっているのは、普段の生活で目にするものが大半です。このことは捨てられたゴミが河川を通じて海に流れてきたり、海岸でポイ捨てされてる現状を示しています。また、弁当が入っていたプラスチック容器や、衣類の切れ端なども多く見られました。これらの生活ゴミが海の環境を傷めています。

今回の調査で深刻なのがテレビや鉄工品など不法投棄の大型ゴミが予想より多く網に載ったことです。これら不法投棄された大型ゴミは漁具を痛めて漁業に多大な被害を及ぼすだけでなく、海底での魚介類の生息環境を傷め、生活の場を奪っていきます。

ひとりひとりがゴミに対して向き合うことが水産資源の海の環境を保全し、保護と育成につながります。

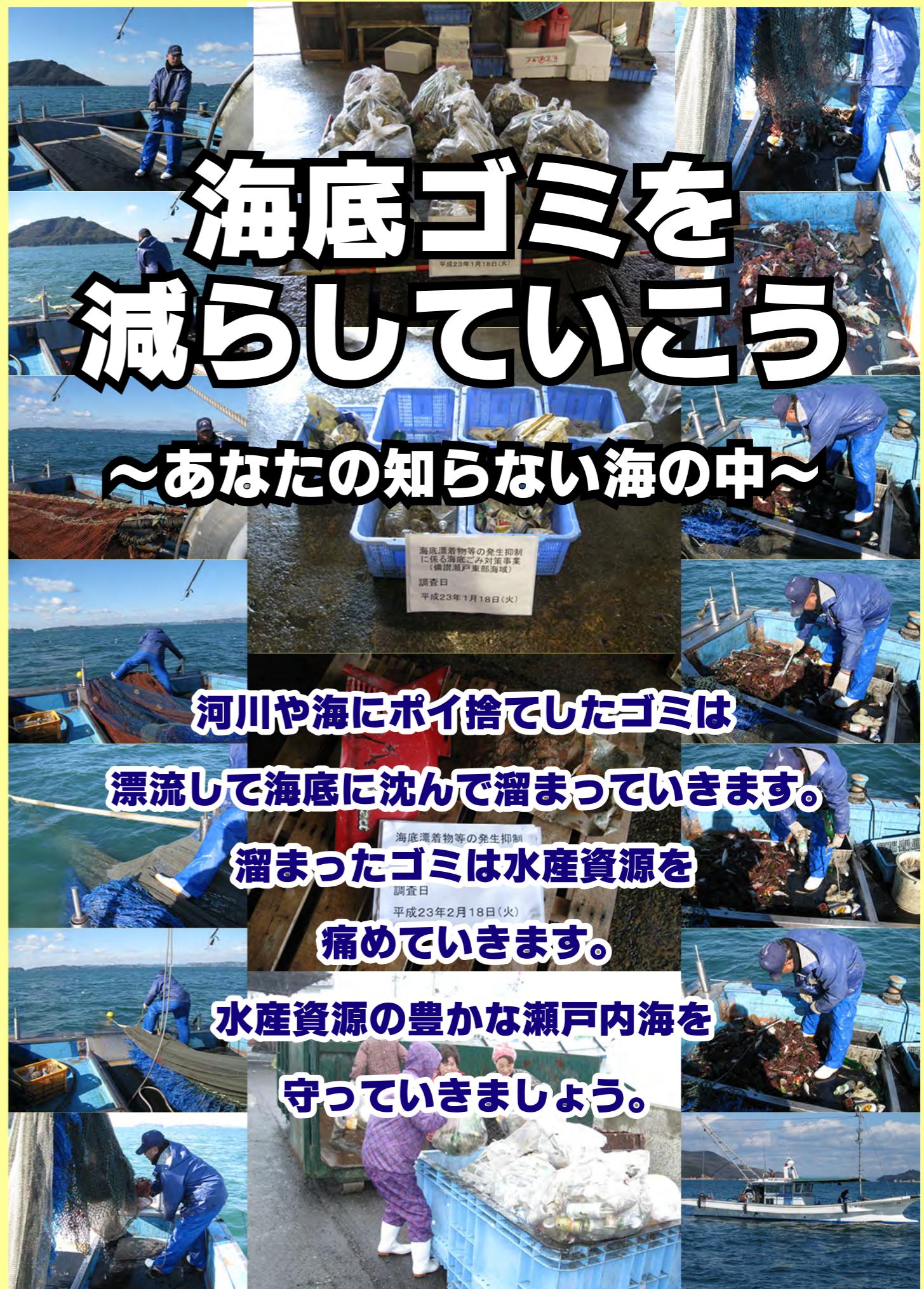


■ 缶	■ ペットボトル	□ ビニール	□ 他プラスチック
■ ビン	■ ゴム	■ 漁網ロープ	■ その他金属類
■ 布類	■ 紙・雑誌	■ 他	■ 発泡スチロール
■ 陶器類	■ その他ガラス	■ 加工木材	

ゴミの種類	個数
缶	2,485
ペットボトル	1,330
ビニール	984
他プラスチック	821
ビン	191
ゴム	122
漁網ロープ	97
その他金属類	81
布類	60
紙・雑誌	16
他	8
発泡スチロール	1
陶器類	1
その他ガラス	0
加工木材	0
合計	6,197

(海岸漂着物等の発生抑制に係る海底ごみ対策事業（備讃瀬戸東部海域）)

庵治漁業協同組合（底曳網部会）



海ゴミの種類



海岸漂着ゴミ



漂流ゴミ

提供：中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所



海底ゴミ

提供：水島地域環境再生財団

海ゴミの原因



川や水路に捨てられたゴミ①



川や水路に捨てられたゴミ②



外国船から捨てられたと思われるゴミ

海ゴミの原因となっているのは、海岸で捨てられたゴミの他に、川や水路、ため池に捨てられたゴミが流れ着いたり、船舶から海に捨てられるゴミなどがあります。

海ゴミの問題点

○景観を悪くする



○処理に困る



海ゴミが海岸等に打ち上げられると景観を悪くするだけでなく、そこに住む動植物の生息に悪影響を及ぼします。

また、大量のゴミやリサイクルできない金属ゴミは処理に困ります。



提供：水島地域環境再生財団

○漁業に支障を来す



提供：水島地域環境再生財団

漁業操業中に引っ掛かる海ゴミは、ゴミの仕分けに時間がかかり、商売道具である網や漁具を傷めて壊してしまう恐れもあります。

また、魚が傷ついたり、時には漁師がけがをする事もあります。

○その他

漂流している海ゴミは船舶の航行を妨げ、海上交通に支障を来します。

海ゴミは海の生物、生態系に悪影響を与えて海洋資源を逼迫するなどの問題もあります。